

1. 概要

●世論形成に影響のある諸外国のテレビ局取材チームを招へいし、日本事情について、有識者へのインタビュー、主要都市・施設の視察など、取材の機会を提供する。

●諸外国において日本の対外政策、経済、社会などをテーマとした日本特集番組を制作・発信させることを目的に実施。

●訪日取材に基づいて制作されたテレビ番組を通じて、幅広く、日本の状況を正確に伝えることにより、海外における正しい対日理解の増進、ひいては日本に対する好感度の向上が期待される。

2. 接遇

●期間
本邦着・発日を含めて最大10泊11日。

●滞在プログラム
日本の広報上の課題や外交行事等を踏まえ、外務省からテレビ局取材チームに対し、当該国での発信ニーズに応じた番組テーマの提案を行い、具体的な取材先・インタビュー相手等についてはテレビ局取材チームの関心も考慮に入れて作成。

●経費
招へいに要する航空費、本邦滞在費は外務省が負担。滞在プログラムには当省手配の制作現場責任者・通訳が同行。

3. 近年の実績

●平成30年度
メキシコから1チーム（アステカTV）を招へい。

●令和元年度
ポーランドからの1チーム（TVN）を招へい。

H30年度メキシコTV局 アステカTV 日墨外交関係樹立130周年の機会を 捉え招へい

【和食、雲楽釜、漫画、ロボット等を発信】

日墨友好関連施設、産官学におけるメキシコとの協力関係、東日本大震災からの復興、東京オリパラ、クールジャパン、地方の魅力（島根・鳥取）等の取材・インタビューを行った。訪日取材に基づき、11日間に亘り日本特集番組が放映され（延べ放送時間115分）、うち4件がクールジャパン関連の特集。



令和元年度ポーランドTV局 TVN社 日ポーランド国交樹立100周年の機会を 捉え招へい

【和食、農産物、先端技術等を発信】

同国と所縁のある愛媛県にて、100周年ドキュメンタリー番組を撮影。その合間に、伊方町のみかん農家やシロウオ踊り食いを取材・収録。豊洲市場、包丁職人等の映像も交えて日本食紹介番組「Japan on the Plate」（45分）を放映。100周年特集番組（60分）でも、両国関係に加え、日本在住ポーランド女性棋士・アニメ技術者、愛情系ロボット等が紹介された。（再放送を含む延べ放映時間795分）



←「敦賀ムゼウム」でのポーランド孤児救出の取材・撮影の様子は、福井TVから逆取材を受けた。